

2019年12月23日
株式会社三菱UFJ銀行

豊田合成株式会社で「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ}三毛 ^{かねつぐ}兼承、以下 当行）は、豊田合成株式会社（取締役社長 ^{みやざき}宮崎 ^{なおき}直樹、以下 当社）との間で、ローン・マーケット・アソシエーション¹⁾（以下、LMA）等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に準拠した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるシンジケートローン方式タームローン契約（以下、本契約）を、中部地区で初めて締結いたしました。本契約は、既存取引行以外を招聘するジェネラル・シンジケートローンにて組成を行い、本原則に準拠したジェネラル・シンジケートローンによる取り組みは、本邦初となります。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のCSR戦略に規定されているサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本契約では、事業活動を通じて排出されるCO₂及び廃棄物の原単位ベースによる削減をSPTとして設定し、2020年度削減目標を達成した場合、優遇金利が維持されるインセンティブが付与されています。当社は、地球温暖化への対応を目的としてCO₂低減活動、また、資源枯渇リスクに対して循環型社会の構築を目的として廃棄物低減活動を推進しています。また、経営理念の柱の一つに地球環境・資源の保全を挙げ、環境に配慮した製品の提供と工程づくりに努め、あらゆる企業活動を通じ、社会と連携して環境・資源を保全し、豊かな地球を未来に残すことに貢献することを目指しています。本契約のSPTであるCO₂排出量の削減及び廃棄物の削減は、低炭素社会及び循環型社会の構築への貢献度を示す指標であり、また当該指標が当社の経営理念及び事業計画の重要な位置付けとなっています。

本ローンの概要

契約締結日	2019年12月23日
アレンジャー/エージェント	三菱UFJ銀行
組成金額	50億円
資金使途	事業資金
貸出人（五十音順）	富山銀行、名古屋銀行、八十二銀行、肥後銀行、三菱UFJ銀行

また、本契約では、株式会社日本格付研究所より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定したSPTの合理性について第三者意見を取得しています。

当行では、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現するため、本年 8 月にサステナブルビジネス室を設立しました。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、事業を通じた環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 60 ヶ国以上約 630 機関が加盟。

以 上